



インターフェイス ケーブルの 接続

この章では、コンソールポート、補助ポート、管理ポート、Cisco 4GE SSM のポート、および SSM のポートにケーブルを接続する方法について説明します。このマニュアルでは、SSM はインテリジェント SSM (AIP SSM または CSC SSM) を指します。

この章は、次の項で構成されています。

- [インターフェイスへのケーブルの接続 \(P.4-2\)](#)
- [次の手順 \(P.4-11\)](#)



(注)

4GE SSM、AIP SSM、および CSC SSM は、オプションのセキュリティ サービス モジュールです。使用する適応型セキュリティ アプライアンスにこれらのモジュールがない場合は、これらの手順をスキップします。



警告

この機器の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 49



注意

これらの手順を実行するときは、『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco ASA 5500 Series*』の安全に関する警告を読み、適切な安全手順に従ってください。

インターフェイスへのケーブルの接続

ケーブルをインターフェイスに接続するには、次の手順に従います。

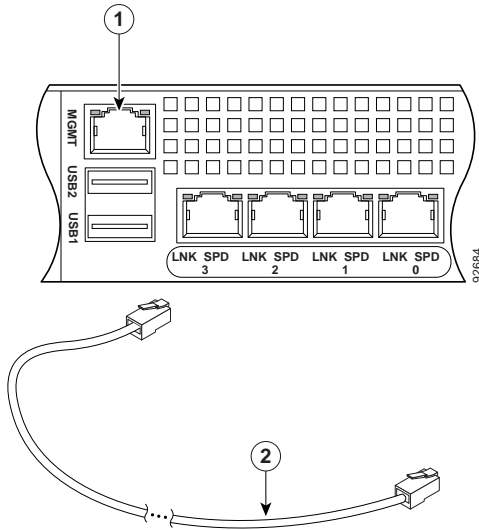
- ステップ 1** シャーシを平坦で安定した場所に置くか、またはラックに設置します（ラックマウントの場合）。
- ステップ 2** コンピュータまたはターミナルをポートに接続する前に、シリアル ポートのボー レートを確認します。ボー レートは、適応型セキュリティ アプライアンスのコンソール ポートのデフォルト ボー レート（9600 ボー）と一致している必要があります。ターミナルの設定は次のとおりです。9600 ボー（デフォルト）、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビット、およびフロー制御（FC）＝ハードウェア。
- ステップ 3** ケーブルをポートに接続します。
 - a. 管理ポートの場合：適応型セキュリティ アプライアンスには、管理 0/0 ポートと呼ばれる専用の管理インターフェイスがあります。管理 0/0 ポートは、トラフィック管理にのみ使用される専用ポートとのファースト イーサネット インターフェイスです。コンソール ポートと類似していますが、管理ポートは適応型セキュリティ アプライアンスへの着信トラフィックのみを受け入れます。



(注) インターフェイスを管理専用インターフェイスとして設定するには、**management-only** コマンドを使用します。管理インターフェイスの管理専用モードをディセーブルにすることもできます。このコマンドの詳細については、『*Cisco Security Appliance Command Reference*』の **management-only** コマンドの説明を参照してください。

- RJ-45 コネクタの一方を管理 0/0 ポートに接続します (図 4-1 を参照してください)。
- イーサネット ケーブルのもう一方の端を、コンピュータのイーサネット ポートに接続します。

図 4-1 管理ポートへの接続



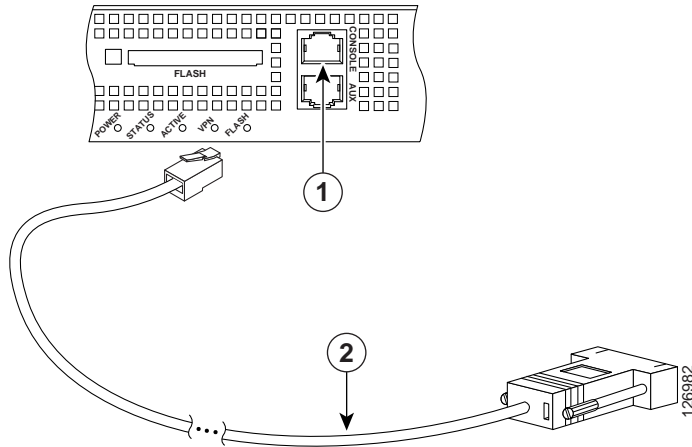
1	管理ポート	2	RJ-45/RJ-45 イーサネット ケーブル
----------	-------	----------	-------------------------

■ インターフェイスへのケーブルの接続

b. コンソールポートの場合

- シリアル コンソール ケーブルを接続します（図 4-2 を参照してください）。コンソール ケーブルには、一方の端にコンピュータのシリアルポート用の DB-9 コネクタがあり、もう一方の端に RJ-45 コネクタがあります。
- RJ-45 コネクタを適応型セキュリティ アプライアンスのコンソールポートに接続します。
- ケーブルのもう一方の端（DB-9 コネクタ）を、コンピュータのコンソールポートに接続します。

図 4-2 コンソール ケーブルの接続

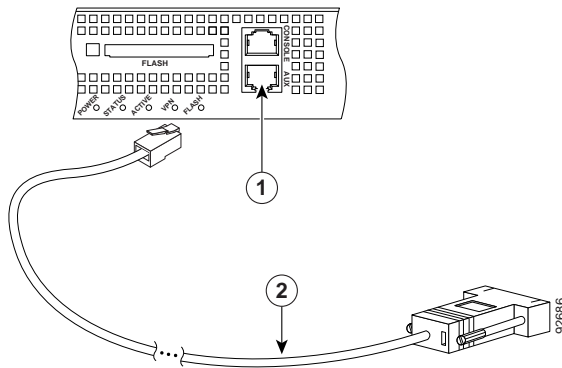


1	RJ-45 コンソールポート	2	RJ-45/DB-9 コンソールケーブル
---	----------------	---	----------------------

c. 補助ポートの場合

- シリアル コンソール ケーブルを接続します（[図 4-2](#) を参照してください）。コンソール ケーブルには、一方の端にコンピュータのシリアルポート用の DB-9 コネクタがあり、もう一方の端に RJ-45 コネクタがあります。
- RJ-45 コネクタを適応型セキュリティ アプライアンスの補助ポート（AUX というラベルがあるポート）に接続します（[図 4-3](#) を参照してください）。
- ケーブルのもう一方の端（DB-9 コネクタ）を、コンピュータのシリアルポートに接続します。

図 4-3 補助ポートへの接続



1	RJ-45 補助ポート	2	RJ-45/DB-9 コンソール ケーブル
---	-------------	---	-----------------------

■ インターフェイスへのケーブルの接続

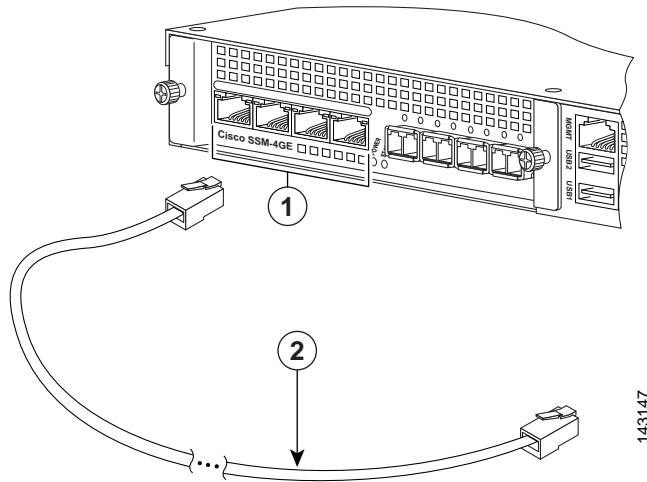
d. Cisco 4GE SSM

- イーサネット ポート
 - RJ-45 コネクタの一方を Cisco 4GE SSM のイーサネット ポートに接続します (図 4-4 を参照してください)。
 - イーサネット ケーブルのもう一方の端をネットワーク デバイス (ルータ、スイッチ、ハブなど) に接続します。



(注) Cisco 4GE SSM はオプションです。この接続は、適応型セキュリティ アプライアンスに Cisco 4GE SSM を取り付けただけの場合のみ必要です。

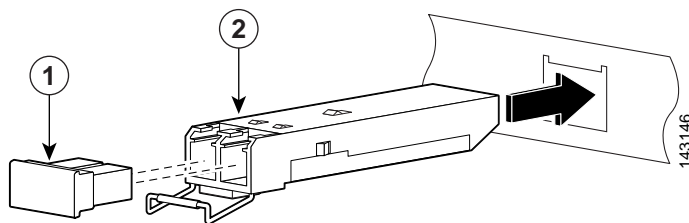
図 4-4 RJ-45 ポートへの接続



1	イーサネット ポート	2	RJ-45 コネクタ
---	------------	---	------------

- SFP モジュール
 - SFP モジュールを、カチッという音が聞こえるまで SFP ポートに差し込み、スライドさせます。カチッという音は、SFP モジュールがポートにロックされたことを示します。
 - 取り付けした SFP から光ポート プラグを取り外します (図 4-5 を参照してください)。

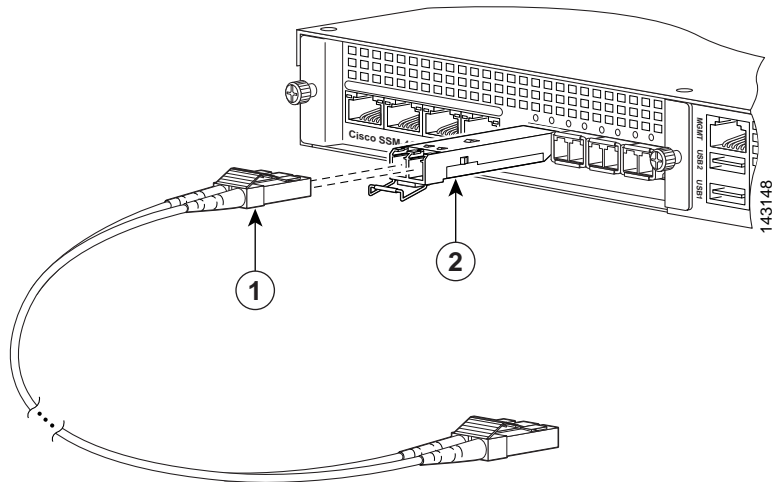
図 4-5 光ポート プラグの取り外し



1	光ポート プラグ	2	SFP モジュール
---	----------	---	-----------

- LC コネクタを SFP モジュールに接続します (図 4-6 を参照してください)。

図 4-6 LC コネクタの接続



1	LC コネクタ	2	SFP モジュール
---	---------	---	-----------

- もう一方の端をネットワーク デバイス（ルータ、スイッチ、ハブなど）に接続します。

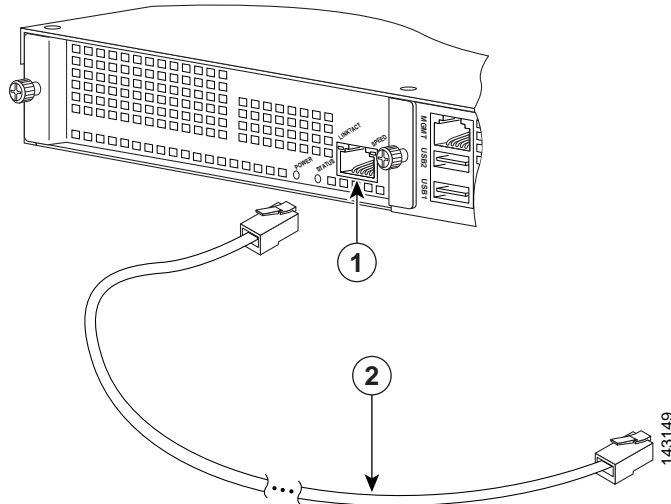
e. SSM

- RJ-45 コネクタの一方を SSM の管理ポートに接続します (図 4-7 を参照してください)。
- RJ-45 ケーブルのもう一方の端をネットワーク デバイスに接続します。



(注) SSM はオプションです。この接続は、適応型セキュリティ アプライアンスに SSM を取り付けた場合のみ必要です。

図 4-7 管理ポートへの接続

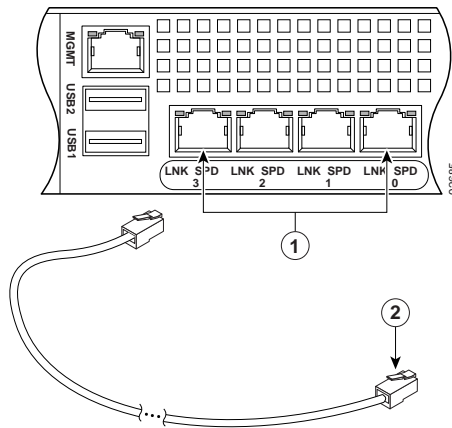


1	SSM 管理ポート	2	RJ-45/RJ-45 ケーブル
---	-----------	---	------------------

■ インターフェイスへのケーブルの接続

- f. イーサネット ポートの場合
- RJ-45 コネクタをイーサネット ポートに接続します（[図 4-8](#) を参照してください）。
 - イーサネット ケーブルのもう一方の端をネットワーク デバイス（ルーター、スイッチ、ハブなど）に接続します。

図 4-8 ネットワーク インターフェイスへのケーブルの接続



1	RJ-45 イーサネット ポート	2	RJ-45 コネクタ
----------	------------------	----------	------------

ステップ 4 電源コードを適応型セキュリティ アプライアンスに接続して、もう一方の端を電源に差し込みます。

ステップ 5 シャーシの電源を入れます。

次の手順

第5章「[適応型セキュリティ アプライアンスの設定](#)」に進みます。

■ 次の手順